

福岡中学校 英語科 12月アンケート結果 考察

1 アンケート結果

- ・設問（1）から、1年生では100%、2年生では87%、3年生では90%の生徒が「英語の学習に意欲的である／どちらかと言えば意欲的である」と回答しています。1年生は入学当初と比べて、生き生きとした表情で授業に臨むようになりました。また、2年生は昨年度のアンケート結果と比較すると肯定的な回答が10ポイント増えています。
- ・設問（2）から、どの学年も8割を超える生徒が肯定的な回答をしています。特に3年生では、授業以外の場面でも友達同士で英会話を楽しんでいる様子が見られます。また、新しい表現を覚えると早速使っており、進んで英語で話そうとする意欲が感じられます。
- ・設問（3）では、1年生は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」、2年生は「聞くこと」「読むこと」、3年生は「読むこと」「話すこと [やり取り]」において、多くの生徒が肯定的な回答をしています。
- ・設問（4）から、肯定的な回答をした生徒が、1、2年生では100%、3年生でも97%に達しています。
- ・設問（5）から、肯定的な回答をした生徒が、1年生では100%、2、3年生でも95%に達しており、例年と比較して高い数値を示しています。

2 今年度の成果

- 教科書の本文を正確に読めるようになることを目指して、一人ずつ教師が音読チェックをしたり、ロイノートで録音して提出させたりしました。その結果が「読むこと」に関する肯定的な回答の増加につながったのではないかと考えられます。
- 今年度は、家庭学習として毎日の単語や基本文の練習に加え、週末課題としてQubenaで教科書の復習問題を配信しました。その結果、単元テストにおいて、回を重ねるごとに良好な成績を修める生徒が増えてきました。

3 今年度の課題

- 「話すこと [発表]」を苦手としている生徒が見られます。「話すこと [やり取り]」はペアで会話を展開させていくのに対して、「話すこと [発表]」は複数名の聞き手に対してプレゼンテーションをしたりスピーチをしたりしなければならないため、緊張してうまく話せなくなってしまうようです。また、発表の場面において、事前に書いた原稿に頼ってしまい、発表後の即興による質疑応答まで対話を展開することが難しい生徒がいます。

4 令和8年度の重点事項

- ◎ 「話すこと [発表]」については、ペアでのやり取りからグループでの発表へとスモールステップで取り組めるようにしたり、お互いの発表の良さを伝え合う場を設けたりして、発表することへの抵抗を減らせるようにしていきます。
- ◎ Small Talk の場面において、即興でやり取りをしたり、メモを基にして話す場面を増やしたりして、原稿に頼らずに話すことができる力を育てていきます。